=循環器内科医3名体制で診療が充実=



留萌市立病院は、「地域センター 病院」として、地域医療に貢献する という大きな使命を持っています。 そのためには、いかにして医師を確 保し、地域医療を守り抜くかが最重 要課題であります。

特に直接生死に関わる循環器内科 医の充足は、緊急を要する課題でし たが、平成22年4月に高橋副院長、 會田医師を迎え、同年10月には大蔵 医師が加わり、現在3名体制で診療 を行っています。今後もこの体制を 維持し地域医療に貢献するとともに 市民の皆さんが安心して暮らせるよ う努力していきます。

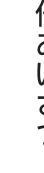
のため、) そうままさんを受け入れ、治 「こう」 から、 私は、これまで主に、棟が再開されました。 り二人の常勤医が赴任し、 病院の努力により、 院の循環器内科は、 当させていただいた患者さん さんの中には、 異動前は、 せざるを得ませんでしたが、 しく思っている次第です。 な姿を確認でき、とても喜ば がちらほら受診され、 りました。 や富良野市といった周辺地域もちろんですが、ここ留萌市 環器内科に所属、 循環器内科勤務となりました。 ご存知の通り、 こういうわけで、 昨年 急性心筋梗塞症などの 10月より留萌市立病院 一時期、 市立旭川病院の循 私が旭川で担 ここ留萌市 病棟を閉鎖 留萌市立病 外来患者 本年度よ 医師不足 お元気 狭心 病

管系の緊急患者を受け院ではまだ、このよう ご協力いただきながら、 能な限り発症から早期に血流 最もポピュラー 的診療を確立しつつあります。 ずつですが充実した循環器科 旭川市や札幌市の循環器内科 テーテル治療の再開も果たし、 症 には様々管理が必要です。 そして急性期を乗り切るため その先の人生を左右します。 患者さんの生死はもちろん、 形成術を行えるかどうかが、 を再開すべく、 心筋梗塞症の患者さんは、 心臓血管外科の先生たちにも での心臓カテーテル検査、 らの経験を活かし、 療に携わってきました。 テーテル治療などを含めた診 性心疾患を対象として、 心臓の病気の中で重症かつ 心筋梗塞症といった虚血 患者を受け入れる 緊急的に血管 と言える急性 今回当院 これ 少し 当 可 力 力

> 護師、 です。 不足、 どの医療機器の不足などを充 填していくことが最優先課題 の大きな目標であります。れをクリアすることが、今 には体制が不十 また、管理モニター 分であり、 Z

床工学師さんはいらっしゃい在、休職中の看護師さん、臨いは、近郊にお住まいで、現 よろしくお願い ら看護師、 先は決めましたか。 器の購入についてご協力して 萌市立病院への就職をご検討 ませんでしょうか。 ませんか。 くださいませ。 している皆さんは、 しくお願い 臨床工学士を目指 また、 申 大歓迎です。 しあげ 誰か知り 是非、 医療機 ます 留

着任あいさつ



循環器内科 医局長 大 蔵 美奈子



留萌市立病院は、市民の皆さんが安心して受診いただける 医療体制づくりを進めています

> 5 ございます。 理解とご協力をいただきなが 昨年は、 新年あけましておめでとう 市立病院を運営してまい 市民の皆さんのご

となり、 ご協力をお願いいたします。ますので、引き続きご支援 ています。 名が他の病院へ異動すること ができました。その一方で平 病院づくりに努力してまいり さんが安心して暮らせる市立 を大きな目標とし、 営の安定化を図っていくこと 確保を目指すとともに病院経 項として、 不安を招いている事態が生じ 成22年度は泌尿器科固定医2 私は、 医師確保の最優先事 一部診療科で市民の 泌尿器科固定医の 市民の皆

病院である留萌市立病院を守

りました。また、地域センター

るため、経営の強化に努力し

の崩壊へと繋がるもので大変方での医師不足は、地域医療全国的な医師の偏在による地

実現することでありました。

いたしましては、医師確保を

てきたところでございます。

この間、

私の大きな目標と

7



の診療体制の充実を図ること	した脳神経外科、循環器内科	にとって最大の課題でありま	診療体制を確立し、地域住民	成22年度は循環器内科3名の	21年度は脳神経外科2名、	このような状況の中、平	ます。	厳しい状況が今も続いており	
こと	内科	りま	住民	名の	气 平	平成		おり	



制の充実に向